

事業概要説明書 [1]		事業番号	1 - 8		
事務事業名	福祉のまちづくり施設整備補助事業	担当部名	都市整備部		
事業開始年度	平成 13 年度	担当課名	建築指導課		
実施方法	補助	担当係	建築福祉係		
根拠法令等	宮崎市福祉のまちづくり条例				
事業の概要	目的 〔 何のために 〕	個人住宅を除く、不特定多数の市民が利用する既存の民間建築物のバリアフリー化を促進する。			
	対象・手段 〔 誰(何)に対して、何をするのか 〕	<p>① 対象となる建築物は、平成13年3月以前に建築された既存の対象施設（医療施設、興行施設、集会施設、物品販売施設、飲食施設、宿泊施設、遊技施設、サービス施設等）である。ただし、条例に規定する小規模施設においては、旧3町（佐土原町、田野町、高岡町）は平成17年12月以前、旧清武町は平成18年3月以前に建築されたものである。</p> <p>② 宮崎市福祉のまちづくり条例施行規則の整備基準に基づき既存施設を改修した施主に対し補助金を交付する。 ・改修費用の1/2。ただし、120万円が限度。</p> <p>③ 福祉のまちづくり整備事業を市民にPRする。 ・PR方法：市広報誌、市ホームページ、ちらし配布等</p> <p>④ 事業者の団体や建築関係団体等の出前講座や講習会等の機会を利用して、この事業のPR活動を行う。</p>			
	事業の必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民や事業者、障害者団体のアンケート等において、既存建築物のバリアフリー改修に対する補助を望む意見が多かった。</li> <li>・ 国、県等に同様の事業はない。</li> <li>・ 事業者に対する意識啓発も事業の目的としており、事業を廃止した場合、既存施設のバリアフリー化が進まなくなる。</li> </ul>			
コスト	平成23年度(予算)		人件費		
	直接事業費 (A)	4,200 千円	職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数
	人件費 (B)	750 千円	正規職員	750 千円	0.1 人
	総事業費 (A+B)	4,950 千円	嘱託員	0 千円	0 人
平成23年度 直接事業費内訳	助成見込 $1,050 \text{千円} \times 4 \text{件}$ $= 4,200 \text{千円}$				

事業概要説明書 [2]			事業番号	1 - 8	
年度		平成22年度(決算)		平成23年度(予算)	
直接事業費		3,528 千円		4,200 千円	
財源	一般財源	0 千円		0 千円	
	受益者負担金	0 千円		0 千円	
	その他	3,528 千円		4,200 千円	
成果目標 〔 どういう状態 を目指すのか 〕	<p>既存の民間施設が、この補助事業を活用しバリアフリー化され、利用する市民から評価されることにより、さらに数多く存在する既存民間施設のバリアフリー化を促進させるきっかけになること。そして、このことが高齢者や障害者等を含めたすべての市民が外出しやすい環境づくりにつながることを目指す。事業当初から平成22年度までに44施設に補助した。</p>				
成果実績 〔 成果目標の 達成状況等 〕	[状況]	想定した成果を得ている			
	[説明]	<p>平成17年度に補助要件を改正した結果、この制度の利用者が増え、既存施設のバリアフリー化を促進している。 今後とも補助事業制度についての啓発を行い、既存対象施設のバリアフリー化に努めていく。</p>			
成果指標 〔 事業の実績 及び目標 〕	指標名 (下段:指標の説明)	単位	数値 (上段:目標 / 下段:実績)		
			平成21年度	平成22年度	平成23年度
	既存施設整備の補助件数	件	6	6	4
			4	3	
出前講座等参加人数	人	850	900	900	
		850	971		
事業の方向性 〔 事業の現状と 課題、今後の あり方等 〕	<p>平成23年度もこの制度が活用されるよう、各種団体の研修会等において広く事業者等に対する制度の周知、啓発に努める。</p>				
特記事項 〔 参考情報等 〕	<p>この事業は、平成13年度に補助の対象箇所をスロープ、出入口、車いす用トイレの3箇所限定し、それぞれに30万円、10万円、80万円の限度額としていたが、平成14年度に整備箇所や箇所ごとの限度額を設けず「施設全体が整備基準に適合すること」を条件に限度額を120万円と改正した。 さらに、平成17年度に「整備する箇所についてのみ整備基準に適合させること」及び「複合施設は各施設を1つの施設とすること」と改正し、制度利用について不利であった大規模施設や複合施設についての配慮を行った。 また、この事業を含め民間施設のバリアフリー化の取組みが高く評価され、平成20年3月に宮崎市は「第1回国土交通省バリアフリー化推進功労者表彰」を受賞した。</p>				

# 1 「福祉のまちづくり施設整備補助事業」利用施設一覧

(単位：千円)

年度	No	事業所名	用途	場所	整備箇所	適合証	助成額
13	1	わかば小児歯科医院	医療施設	永楽町	便所、出入口、スロープ	○	1,200
		合計					1,200
14	1	新坂歯科医院	医療施設	旭1丁目	便所、EV設置	○	1,200
	2	アートステーションどんこや	物品販売施設	新名爪	便所、EV設置	○	670
	3	宮崎県身体障害者福祉会館	社会福祉施設	青葉町	便所、点字ブロック等	○	1,019
	4	宮崎県遺族会館	集会施設	末広1丁目	便所、点字ブロック、スロープ等	○	1,200
	5	みやそう西館	集会施設	江平東	便所、EV設置、点字ブロック等	○	1,200
	6	坂口歯科	医療施設	恒久3丁目	便所、スロープ	○	630
		合計				5,919	
15	1	林歯科医院	医療施設	神宮西1丁目	便所	○	472
	2	北部自治会公民館	集会施設	塩路	便所、スロープ	○	1,200
	3	上原内科医院	医療施設	大島町	EV設置、点字ブロック等	○	1,200
	4	大盛うどん	飲食施設	江平西1丁目	便所、出入口	○	1,200
		合計				4,072	
16	1	さくら理容	サービス施設	小松	便所、スロープ、出入口	○	1,200
	2	作耳耳鼻咽喉科医院	医療施設	島之内	便所、スロープ、点字ブロック等	○	1,200
	3	株式会社 大興不動産	サービス施設	南花ヶ島	EV設置、点字ブロック等	○	1,172
		合計				3,572	
17	1	元村自治公民館	集会施設	芳土	便所		582
	2	くにした歯科医院	医療施設	江平東2丁目	スロープ、出入口		835
	3	ひまわり保育園	社会福祉施設	大塚台東1丁目	トイレ、出入口、スロープ	○	1,200
	4	ヘルパーステーションまちづくり高橋店舗1階	サービス施設	橘通東4丁目	便所、出入口等		425
	5	一天(肴まつや)	飲食店	高岡町	トイレ、出入口、スロープ	○	1,200
		合計				4,242	
18	1	弓場歯科医院	医療施設	花ヶ島町	便所		1,200
	2	長友歯科医院	医療施設	学園木花台桜	便所		731
	3	ふじさき歯科医院	医療施設	大塚町	玄関スロープ外		1,200
	4	がっちゃん寿司	飲食施設	大島町	便所	○	1,191
	5	中原自治公民館	集会施設	吉村町	便所外		680
	6	クリエイティブ宮崎大塚店	サービス施設	大塚台西2丁目	便所外		1,200
	7	宮崎身体障害者福祉協会	社会福祉施設	宮崎駅東3丁目	便所		809
		合計				7,011	
19	1	Hair Salon's AYA	サービス施設	大塚町	便所外	○	1,200
	2	一ツ葉医研有限会社	医療施設	吉村町	便所外		134
	3	えぶろん亭	宿泊施設	内海	スロープ、便所		1,200
	4	鏡洲保育園	社会福祉施設	鏡洲	便所外	○	1,200
	5	麦わら帽子	飲食施設	大塚台東1丁目	スロープ		138
		合計				3,872	
20	1	有限会社中村メディカル	医療施設	和知川原2丁目	玄関		981
	2	医療法人清水歯科医院	医療施設	高岡町	EV設置		1,200
	3	小松台ハイランド自治会	集会施設	小松台西2丁目	スロープ、手すり		252
	4	谷口康則(居酒屋 ま菜や)	飲食施設	中央通	スロープ、便所		1,068
	5	有限会社クルンテーブ	飲食施設	阿波岐ヶ原	便所		1,179
	6	稲田義仁(稲田歯科)	医療施設	恒久南2丁目	EV設置	○	1,200
		合計				5,880	
21	1	大吉茶屋	飲食施設	佐土原町	便所	○	501
	2	星井眼科	医療施設	中村東3丁目	便所		1,200
	3	桜の蔵	飲食施設	佐土原町	便所		328
	4	内藤葬祭	集会施設	佐土原町	便所		1,200
		合計				3,229	
22	1	医療法人 社団敬寿会	社会福祉施設	本郷北方	浴室、脱衣室	○	1,200
	2	LOVE CONTRIBUT (美容院)	サービス施設	橘通西2丁目	便所、段差解消、出入口	○	1,200
	3	日中一時支援事業所 T.H.S RaCoo!	社会福祉施設	高岡町	エントランス、トイレ、段差解消機		1,128
		合計				3,528	
平成13~22年度(44件)合計						23件	42,525

## 2 適合証交付件数の内訳

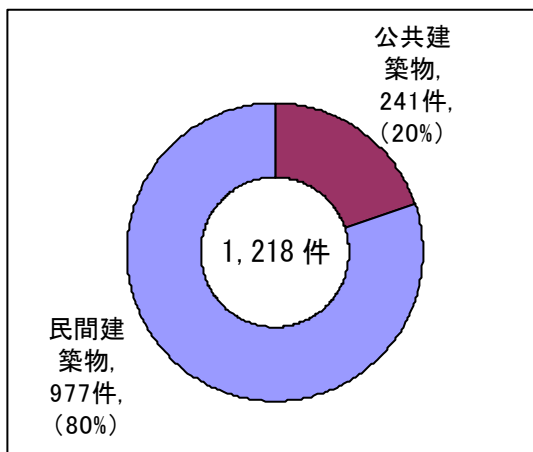


図1 平成13～22年度適合証交付件数

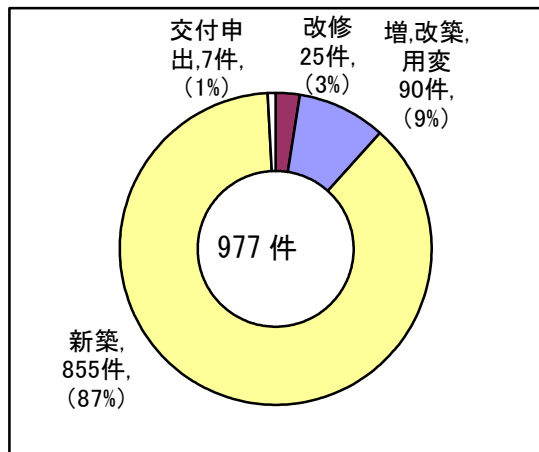


図2 民間建築物適合証交付工事種別内訳

## 3 第1回国土交通省バリアフリー化推進功労者表彰 平成20年3月

宮崎市は、「福祉のまちづくり条例」による事前協議制度について広範な規模・用途の建築物を対象とし、また、基準に適合するものへの適合証の発行を積極的に進めるとともに、改修工事に対する助成を行うなどにより、そのバリアフリー化を強力に進めております。

さらには、ホームページなどを用いた建築物のバリアフリー状況の積極的な情報提供、「観光バリアフリー」実現のための活動の実施のほか、優れた建築物の顕彰制度を予定するなど、継続的な民間建築物のバリアフリー促進の取組みを高く評価し、表彰することといたしました。

## 4 ブログによる啓発

### ▼ブログの掲載例（「宮崎観光バリアフリータイムリーニュース」の一部）

2011年6月26日

宮崎市の中心部に、また1つ、車いすで利用できるお店ができました。



バリアフリーにするために、しばらくお店を休んでスロープやトイレを改修しただけあって、広くてきれいなトイレです。

改修費の一部は市役所のバリアフリーの補助金を活用したそうです。

<http://www.city.miyazaki.miyazaki.jp/www/contents/1170222724199/index.html>